




# Microsoft System Center Virtual Machine Manager 用 Dell Lifecycle Controller Integration バージョン 1.3 インストールガイド



# メモ、注意、警告

-  **メモ:** メモでは、コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** 注意では、ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 警告では、物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2014 - 2016 Dell Inc. All rights reserved. この製品は、米国および国際著作権法、ならびに米国および国際知的財産法で保護されています。Dell、および Dell のロゴは、米国および/またはその他管轄区域における Dell Inc. の商標です。本書で使用されているその他すべての商標および名称は、各社の商標である場合があります。

# 目次

<b>1 Microsoft System Center Virtual Machine Manager 用 Dell Lifecycle Controller Integration について</b> .....	<b>5</b>
<b>2 SCVMM 用 DLCI のコンポーネント</b> .....	<b>6</b>
ユーザー — 役割と特権.....	6
アプライアンスで使用されるポート.....	7
<b>3 アプライアンスのインストール</b> .....	<b>8</b>
管理システムのシステム要件.....	8
アプライアンスのダウンロード.....	9
アプライアンスのセットアップ.....	9
IG の変更.....	13
IG の修復.....	14
SCVMM と統合ゲートウェイの資格情報の変更.....	14
<b>4 SCVMM 用 DLCI のアップグレード</b> .....	<b>15</b>
Service Pack のアップデートについて.....	15
アプライアンス Service Pack およびインフラ Service Pack のダウンロード.....	15
Service Pack アップデートの前提条件.....	15
Service Pack アップデートのリポジトリへのコピー.....	16
リポジトリ URL 情報の入力.....	16
Service Pack アップデートのインストール.....	16
IG のアップグレード.....	17
コンソールアドインのアップグレード.....	17
<b>5 アプライアンスのアンインストール</b> .....	<b>19</b>
IG の取り外し.....	19
SCVMM からのコンソールアドインのを削除.....	19
コンソールアドインのアンインストール.....	19
アプライアンスの削除.....	19
その他のアンインストール手順.....	20
アプライアンス固有の RunAsAccounts の削除.....	20
DLCI アプリケーションプロファイルの削除.....	20
<b>6 トラブルシューティング</b> .....	<b>21</b>
SCVMM のアカウント削除.....	21
アプライアンスと ADK の互換性の問題.....	21
アプライアンスと統合ゲートウェイ間の接続喪失.....	21
SCVMM 用 DLCI 管理ポータルにアクセスできない.....	21
SCVMM R2 のアップデート後のプラグインへのアクセスエラー.....	22
ネットワーク設定の変更後のアプライアンスへのアクセスエラー.....	22
セットアップおよび設定時の入力エラー.....	22



Mozilla Firefox ブラウザを介して管理ポータルにアクセスする際のエラーメッセージ.....	22
サーバーへの接続の失敗.....	22
SCVMM 用 DLCI コンソールのアドインのインポート中、2016 VMM コンソールがクラッシュ.....	23
Windows 2012 OS 上での SCVMM 用 DLCI 管理ポータルおよび SCVMM 用 DLCI コンソールアドインの起動 の失敗 .....	23
アプライアンスに割り当てられていない IP アドレス.....	23
SCVMM にアクセスするに必要な権限がない.....	23
Active Directory へのサーバー追加中の SCVMM エラー 21119.....	23
SCVMM 登録の失敗 .....	24

**7 Dell サポートサイトからの文書へのアクセス.....25**



# Microsoft System Center Virtual Machine Manager 用 Dell Lifecycle Controller Integration について

Microsoft System Center Virtual Machine Manager (SCVMM) 用 Dell Lifecycle Controller Integration (DLCI) では、ハードウェアの設定を可能にし、ファームウェアアップデート、および Dell サーバーへの Hyper-V 導入のプロセスを簡素化および改善するためのソリューションを提供します。また、サーバーイメージが破損した場合、サーバープロファイルをエクスポートして、類似のサーバーグループの同一サーバープロファイルをインポートできます。このプラグインでは、Dell Remote Access Controller (iDRAC) with Lifecycle Controller のリモート導入機能を使用してシームレスなユーザー体験を実現し、Microsoft System Center コンソールを介して Dell の価値付加を仮想化環境の管理に活用することができます。

Microsoft System Center Virtual Machine Manager についての情報は、Microsoft の文書を参照してください。

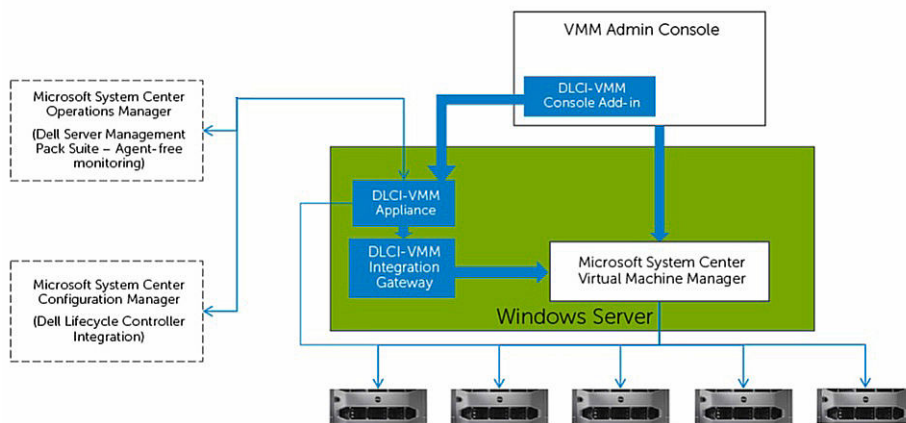
この文書には、DLCI アプライアンスのインストールに必要な前提条件と対応ソフトウェアに関する情報が記載されています。DLCI アプライアンスのリリース日から長期間経過した後でこのバージョンの DLCI アプライアンスをインストールしている場合は、[dell.com/support/home](https://dell.com/support/home) で本書のアップデートバージョンの有無を確認してください。

# SCVMM 用 DLCI のコンポーネント

SCVMM 用 DLCI のコンポーネントは次のとおりです。

- System Center Virtual Machine Manager (SCVMM) 用 Dell Lifecycle Controller Integration (DLCI)。これはアプライアンスとも呼ばれており、次の機能があります。
  - CentOS をベースとした仮想マシンとして Hyper-V 上でホストされます。
  - Web Services-Management (WSMAN) を使用して iDRAC 経由で Dell サーバーと対話します。
  - 管理ポータル経由でのアプライアンスの管理を可能にします。
  - すべてのジョブ、全ユーザーからのアクティビティログ、およびライセンス情報の表示を可能にします。
- 統合ゲートウェイ (IG) とも呼ばれる SCVMM の DLCI 統合ゲートウェイは、Windows Server にインストールされた一連のウェブサーバーで、アプライアンスのために SCVMM PowerShell コマンドと WinPE カスタマイズを実行します。
- DLCI コンソールとも呼ばれる SCVMM 用 DLCI コンソールアドインは、LC ドライバインジェクションの有無にかかわらず、検出、プロファイル作成、オペレーティングシステムの導入などのアプライアンスベースのタスク、およびファームウェアのアップデートを実行することができます。

次の図は、コンポーネントおよびその他のソフトウェアを使った DLCI アプライアンスのセットアップを示しています。



## ユーザー — 役割と特権

DLCI アプライアンスコンポーネントおよびその他ソフトウェアによって必要とされるユーザーは次のとおりです。

表 1. : 役割と特権

役割	DLCI アプライアンス管理者	統合ゲートウェイのアカウント
特性	アプライアンス固有のユーザー (管理者)	このアカウントの特性は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>有効な &lt;ドメイン&gt; ユーザーである。</li> <li>統合ゲートウェイサーバーにアクセスするためのローカル管理者権限</li> </ul>

役割	DLCI アプライアンス管理者	統合ゲートウェイのアカウント
		・ VMM 管理者権限
DLCI アプライアンスコンポーネントアクセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理ポータル</li> <li>DLCI アプライアンス</li> </ul>	統合ゲートウェイ
機能（明示的に記載されていない限り、リストされているものの作成、表示、編集、削除するためのアクセス権を持つ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>セットアップと設定</li> <li>Service Pack のアップデート</li> <li>ジョブおよびログ</li> <li>統合ゲートウェイのダウンロード</li> <li>コンソールアドインのダウンロード</li> <li>ライセンスの詳細</li> <li>DLCI アプライアンスユーザーのすべての機能</li> </ul>	(可視的な機能なし)

## アプライアンスで使用されるポート

これらのポートは、アプライアンスのさまざまなコンポーネントによって使用されます。

ファイアウォールの例外リストにこれらのポートを追加してください。

表 2. アプライアンスで使用されるポート

詳細	プロトコル	デフォルトポート	ポート設定の変更箇所
iDRAC または OMSA 通信	WSMAN	443	設定不可能
FTP コマンドクライアント	FTP	21	設定不可能
DNS クライアント	DNS	53	設定不可能
Dell オンラインデータアクセス	HTTP	80	設定不可能
管理コンソール	HTTP	80	設定不可能
HTTPS サーバー	HTTPS	443	設定不可能
PostgreSQL	Postgres	5432	設定不可能
統合ゲートウェイ	HTTPS	8455	統合ゲートウェイのインストール中に設定可能。
自動検出	HTTPS	4433	設定不可能
iDRAC — これらのポートは、iDRAC が統合ゲートウェイによって作成された CIFS 共有にアクセスできるように有効化されています。	HTTPS	135 から 139、および 445	設定不可能

# アプライアンスのインストール

アプライアンスをインストールするには、次の手順を実行します。


1. システム要件をチェックして確認します。詳細に関しては「[管理システムのシステム要件](#)」を参照してください。
2. アプライアンスをダウンロードします。詳細に関しては「[アプライアンスのダウンロード](#)」を参照してください。
3. アプライアンスをセットアップします。詳細に関しては「[アプライアンスのセットアップ](#)」を参照してください。

## 管理システムのシステム要件

管理システムとは、アプライアンスとそのコンポーネントがインストールされているシステムです。

- ・ アプライアンスの要件：
  - Windows Server 2012 R2、Windows Server 2012、または Windows Server 2016 がインストールされており、Hyper-V 役割が有効になっている。
- ・ 統合ゲートウェイの要件：
  - Windows Server 2012 R2、Windows Server 2012、または Windows Server 2016 がインストールされている。
  - Microsoft .NET バージョン 3.5 がインストールされている。
  - SC2012 VMM R2 UR8 コンソール、SC2012 VMM SP1 UR10 コンソール、または SC2016 VMM UR1 以降がインストールされている。
- \* SC2012 VMM R2、SC2012 VMM SP1、および SC2016 VMM UR1 コンソールに共通のシステム要件：
  - ・ Microsoft .NET バージョン 4.5 がインストールされている。
    - HTTP アクティブ化が有効になっている。
  - ・ IIS 7.5 以降がインストールされている。
    - IIS の Windows 認証がインストールされている。
    - IIS の URL 認証が有効になっている。
  - ・ IIS 6 メタベース互換性が有効になっており、そこで IIS 6 WMI 互換性および IIS 6 スクリプトツールが有効になっている。
  - ・ フェールオーバークラスタリング機能が有効になっている。
- \* SC2012 VMM R2 コンソール固有のシステム要件：
  - ・ SC2012 VMM SP1 から SC2012 VMM R2 にアップグレードしている場合は、Windows PowerShell 4.0 へのアップグレードが必要です。
  - ・ Windows アセスメント & デプロイメントキット (ADK) 8.1 がインストールされている。

\* SC2012 VMM SP1 コンソール固有のシステム要件：

- ・  **メモ: SC2012 VMM SP1 にアップデートする場合は、次のことを念頭に入れてください。SC2012 VMM URL V5 以降にアドインをインポートする時に、コンソールがクラッシュする場合があります。その問題に関する情報および解決については、このナレッジベースの URL : [Support.microsoft.com/kb/2785682](http://Support.microsoft.com/kb/2785682) から問題 5 を参照してください。インストールされているアップデートのロールアップのバージョンに関わらず、このアップデートを実行します。**

- ・ Windows アセスメント & デプロイメントキット (ADK) 8.0 がインストールされている。

\* SC2016 VMM UR1 コンソール固有のシステム要件：

- ・ Windows ADK 10 がインストールされます。

- 組織の PowerShell 実行ポリシーのガイドラインを検査し、ローカルマシンに有効な実行ポリシーが RemoteSigned として設定され、**統合ゲートウェイサービスアカウント**で Unrestricted として設定されていることを確認します。ポリシー設定の詳細に関しては、次の MSDN の記事を参照してください。

\* **PowerShell 実行ポリシー** : [technet.microsoft.com/en-us/library/hh847748.aspx](http://technet.microsoft.com/en-us/library/hh847748.aspx)

\* **PowerShell グループポリシー** : [technet.microsoft.com/library/jj149004](http://technet.microsoft.com/library/jj149004)

・ 管理ポータル要件：

- Internet Explorer 10 以降
- Mozilla Firefox 30 以降
- Google Chrome 23 以降

## アプライアンスのダウンロード

SCVMM 用 DLCI のインストールおよびセットアップを行うには、アプライアンス、統合ゲートウェイ、コンソールアドインの各コンポーネントをダウンロードしてインストールします。

アプライアンスのダウンロード：




1. SCVMM 用 DLCI を使用するためのライセンスがある場合は、デジタル資格情報ポータルから SCVMM 用 DLCI をダウンロードし、ライセンスがない場合には、デルサポートチームに有効なライセンスについてお問い合わせください。  
アプライアンスのダウンロード、インストール、および「[アプライアンスのセットアップ](#)」が終了したら、管理ポータルから統合ゲートウェイとコンソールアドインのダウンロードとインストールを行うことができます。
2. ダウンロードファイルを解凍して、VHD ファイルとマニュアルを表示します。

## アプライアンスのセットアップ

前提条件：

- ・ アプライアンスをセットアップする Hyper-V について次の項目を確認してください。
  - **仮想スイッチ** が設定済みで使用可能である。
  - SCVMM がセットアップされているシステムのユーザー資格情報。
  - SCVMM の完全修飾ドメイン名。
  - 統合ゲートウェイの完全修飾ドメイン名およびユーザーの資格情報。
  - 設定ファイルを保管する共有ネットワークの場所。
- ・ SCVMM および IG アカウントユーザーは次のメンバーです。
  - ドメインユーザーグループ
  - System Center 仮想マシンマネージャ管理者グループ
  - ローカル管理者グループ

アプライアンスをセットアップするには、次の手順を実行します。

1. 次の手順を使用してアプライアンス VM を展開します。
  - a. **Windows Server** の **Hyper-V マネージャ** で、**Hyper-V マネージャ** メニューから **操作** → **新規** → **仮想マシン** を選択します。
  - b. **開始する前に** で **次へ** をクリックします。
  - c. **名前と場所の指定** では、仮想マシンの名前を入力します。  
別の場所に仮想マシンを格納する場合は、**別の場所に仮想マシンを格納** を選択し、**ブラウズ** をクリックしてし、新しい場所をスキャンします。
  - d. **世代の指定** で、**第 1 世代** を選択してから、**次へ** をクリックします。
  - e. **メモリの割り当て** で、必要なメモリを割り当てます。  
 **メモ: 4096 MB 以上が必要です。**
  - f. **ネットワークの構成** の **接続** で、使用するネットワークを選択し、**次へ** をクリックします。
  - g. **仮想ハードディスクの接続** で **既存の仮想ハードディスクを使用** を選択し、**DLCI\_VMM\_Appliance.VHD** ファイルがある場所をスキャンして、そのファイルを選択します。
  - h. **概要** で指定した詳細を確認し、**完了** をクリックします。
  - i. **仮想プロセッサの数** の値を 2 に設定します。デフォルトでは、プロセッサの数が 1 に設定されています。プロセッサ数を設定するには次のようにします。
    1. アプライアンスを右クリックして、**設定** を選択します。
    2. **設定** で、**プロセッサ** を選択し、**仮想プロセッサの数** を 2 に設定します。
2. アプライアンスの VM が正しく設定されていることを確認するチェックリスト。  
アプライアンスの VM を選択し、**設定** を右クリックして選択します。
  - a. アプライアンス用のメモリの割り当てが 4096 MB であることを確認します。
    - ・ 確認できない場合は、**スタートアップ RAM** で 4096 MB を入力し、**適用** をクリックします。
  - b. プロセッサの数が 2 以上あるか確認します。
    - ・ 確認できない場合は、**プロセッサ** で、**仮想プロセッサの数** を 2 に増やします。
  - c. **IDE コントローラ 0** → **ハードドライブ** で、**仮想ハードディスク** フィールドが **DLCI\_VMM\_Appliance** をファイル参照しているか確認します。
    - ・ 確認できない場合は、**参照** をクリックし、VHD ファイルが解凍される場所に移動して、**DLCI\_VMM\_Appliance** ファイルを選択し、**適用** をクリックします。
  - d. **ネットワークアダプタ** → **仮想スイッチ** が、物理 NIC カードに接続されているか確認します。
    - ・ 確認できない場合は、NIC カードを設定し、**仮想スイッチ** ドロップダウンメニューから適切な NIC カードを選択して、**適用** をクリックします。
3. **Hyper-V マネージャ** メニューで、**DLCI アプライアンス仮想マシン** を右クリックし、次の手順を実行します。
  - a. **接続** をクリックし、**起動** をクリックします。  
 **メモ: 選択した仮想ハードディスクでアプライアンス用に新しく作成した仮想マシンが、カーネルパニックの例外で起動に失敗した場合、その仮想マシンの設定を編集し、新しく作成した仮想マシンの設定を編集する方法でこの仮想マシンの動的メモリオプションを有効にします。**  
この仮想マシン用のダイナミックメモリオプションを有効にするには、アプライアンスの仮想マシンを右クリックします。
    - a. アプライアンス VM を右クリック、**設定** をクリックし、**メモリ** をクリックします。
    - b. **動的メモリ** の下で、**ダイナミックメモリを有効にする** チェックボックスを有効にして、詳細を提供します。
4. アプライアンスが起動したら、次の手順を実行します。  
 **メモ: デルでは、すべてのサービスが開始されるように、Admin としてログインする前に 5 分間待機することを推奨します。**
  - a. localhost login に admin と入力します。
  - b. Enter new Admin password にパスワードを入力します。


- c. Please confirm new Admin password にパスワードを再入力し、**Enter** を押して続行します。
- d. **DLCI アプライアンス** で **ネットワークの設定** を選択し、**Enter** を押します。
  1. **アクションの選択** で **DNS 設定** を選択し、**Enter** を押します。
  2. **DNS 設定** の **ホスト名** で、FQDN を入力し、**OK** を押します。  
たとえば、hostname.domain.com などです。
  3. **アクションの選択** で **保存して終了** を押します。

e. アプライアンスから、管理ポータル URL をメモします。

5. 管理ポータルにログインし、IG をダウンロードします。

- a. IG アカウントを使用して、IG をインストールする予定のシステムにログインします。
- b. Web ブラウザで、管理ポータル URL <IP Address or hostname> にアクセスします。  
(例 : https://dlciforvmm)

管理ポータルにログインすることにより、統合ゲートウェイとコンソールアドインのコンポーネントをダウンロードできます。

 **メモ:** 初めて管理者ポータルにアクセスしてログインすると、**セットアップと設定ウィザード** が表示されます。

- c. **Setup and Configuration** (セットアップと設定) の **Welcome** (ようこそ) で、**Next** (次へ) をクリックします。
- d. **Download and Install** (ダウンロードとインストール) で次の操作を行い、**Next** (次へ) をクリックします。

1. **DLCI Integration Gateway for SCVMM Installation** (SCVMM 用 DLCI 統合ゲートウェイのインストール) で **Download Installer** (インストーラのダウンロード) をクリックし、インストーラを保存場所に保存します。

6. IG アカウントを使用して IG をインストールします。

- a. **DLCI Integration Gateway for SCVMM** (SCVMM 用 DLCI 統合ゲートウェイ) インストーラを実行します。
- b. **DLCI Integration Gateway for SCVMM Welcome** (SCVMM 用 DLCI 統合ゲートウェイのようこそ) ページで、**Next** (次へ) をクリックします。
- c. **License Agreement** (ライセンス契約) で、**I accept the terms in the license agreement** (ライセンス契約の条件に同意します) を選択して **Next** (次へ) をクリックします。
- d. **License: Open-Source Software** (ライセンス : オープンソースソフトウェア) で、オープンソース関連の情報を参照し、**Next** (次へ) をクリックします。
- e. **Prerequisites Status** (前提条件のステータス) で次の操作を行って、**Next** (次へ) をクリックします。

- ・ 最新の前提条件のステータスを表示するには、**Scan for Prerequisite** (前提条件のスキャン) をクリックし、ステータスを確認します。

- ・ 前提条件をインストールするには、**Install Prerequisite** (前提条件のインストール) をクリックします。

**Install Prerequisite** (前提条件のインストール) をクリックすると、IG によって次の前提条件が自動インストールされます。

- Microsoft .NET 4.5 下の HTTP のアクティブ化
- IIS 7.5 下の IIS における Windows 認証
- IIS 7.5 下の IIS における URL 認証
- IIS 6 WMI 互換性下の IIS 6 メタベース互換性、および IIS 6 スクリプトツール
- フェールオーバークラスタリング

- f. **統合ゲートウェイの設定** で、IG サービスアカウントユーザーの詳細を入力し、アカウントの前提条件が満たされていることを確認します。

アプライアンスと IG 間で通信のためのポートを割り当てます。有効になるデフォルトポートは 8455 ですが、要件に応じて別のポート番号を設定することもできます。

ステージングサーバーの場所を変更するには、**共有フォルダの選択** をクリックし、新しい場所をスキャンして、**次へ** をクリックします。

 **メモ:**

- ・ 作成された共有フォルダに最低 10 GB のディスク空き容量があることを確認します。
- ・ IG サービスユーザーアカウントの **Execution policy** (実行ポリシー) は **Unrestricted** (制限なし) に設定されています。

- g. デフォルトのインストールフォルダ、**Integration Gateway for VMM (VMM 用統合ゲートウェイ)** が選択されています。場所を変更するには、**Change (変更)** をクリックして新しい場所をスキャンし、**Next (次へ)** をクリックします。

- h. **Install the Program (プログラムインストールの準備完了)** で、**Next (次へ)** をクリックします。

次の共有ディレクトリは IG のインストール中に作成されますが、IG 資格情報を使用してアクセス可能になっていることを確認します。

- DLCI Protection Vault
- DTK
- DOWNLOADS
- INVENTORY
- ISO
- LCDRIVER
- Log
- OMSA
- WIM
- UPDATE

- i. インストールが完了したら、**Finish (終了)** をクリックします。

## 7. IG をインストールした後は、次の点を確認します。

- a. ホスト名を使用して、アプライアンス、SCVMM および IG 間の接続を確認します。

- 読み取り専用ユーザとしてアプライアンスにログインし、アプライアンスから IG サーバーおよび SCVMM Server に対して ping を実行します。
  - 読み取り専用ユーザーとしてアプライアンスにログインするには、**読み取り専用**としてのユーザー名とアプライアンス管理者パスワードを入力します。
- IG サーバーにログインし、アプライアンスおよび SCVMM Server に対して ping を実行します。
- SCVMM Server にログインし、アプライアンスおよび IG サーバーに対して ping を実行します。

Ping の応答がない場合は次を実行します。

- ファイアウォールが通信をブロックしていないことを確認します。
  - DNS サーバーの IP がアプライアンスの **DNS 設定** で設定されていることを確認します。
  - アプライアンスのエントリは、DNS サーバーで行われます。
- b. インターネットインフォメーションサービス (IIS) が動作していることを確認した後、次の URL でブラウザを起動し、IIS サイトに到達できることを確認します。 [https://<IG server>:IG port number\(default 8455\)](https://<IG server>:IG port number(default 8455))。  
IG 資格情報を使用してブラウザで IG サービスを開くことができない場合は、次のことを確認します。

- ファイアウォールは、IG サーバーと IG ポート番号をブロックしていません。
- ウイルス対策などのセキュリティのツールが IG ポートまたは IIS サービスをブロックしていません。

- c. IG のインストール中に次のパスで作成された共有フォルダにアクセスできていることを確認します。


`\\IGServerHostName.`

ファイルがアクセスされない場合は次を確認します。

- IG サーバーのサーバーメッセージブロック (SMB) の構成。
  - IG サーバーの IP アドレスが DNS サーバ内に入力されています。
- d. IG ユーザーが SCVMM 管理者グループの一部あることを確認します。  
IG ユーザーに管理者権限があることを確認します。
1. IG 資格情報を使用して SCVMM コンソールにアクセスします。SCVMM サービスウィンドウのタイトルバーの **管理者**を見ると、管理者権限が確認できます。
- e. (初回のユーザには適用されません) アプライアンスのセットアップを開始する前に、デルのアプリケーションのプロファイルが削除されていることを確認します。詳細については、[その他のアンインストール手順](#) から **DLCI アプリケーションプロファイルの削除**のセクションを参照します。
- f. すべての管理システムの DNS にエントリがあることを確認します。

## 8. DLCI 管理ポータルに戻るには、次を実行します。

- a. **セットアップと設定** の **サーバー詳細** で、次の情報を入力してから **次へ** をクリックします。
    1. SCVMM サーバーの完全修飾ドメイン名 (FQDN) と、SCVMM サーバーのユーザー資格情報およびアカウントの前提条件が満たされていることを確認します。

 **メモ: SCVMM サーバーの管理者のユーザーは、SCVMM のサービスアカウントにしないでください。**
    2. IG がインストールされているサーバーの完全修飾ドメイン名 (FQDN)、IG サービスアカウントユーザー詳細、および適正な IG ポート番号 (8455 がデフォルトのポート番号) を確認します。さらにアカウントの前提条件が満たされていることを確認します。
  - b. **Apply Settings (設定を適用)** で **Apply (適用)** をクリックして、登録プロセスを完了します。
  - c. Console Add-in Installation (コンソールアドインインストール) のための **Installation (インストール)** で、**Download Installer (インストーラのダウンロード)** をクリックしてインストーラを保存場所に保存します。
9. **DLCI\_VMM\_Console\_Addin** のインストールおよびインポート

 **メモ: iDRAC ファームウェアバージョン 2.40.40.40 以降を使用する場合は、トランスポート層セキュリティ (TLS) バージョン 1.1 以降をデフォルトで有効にします。コンソールアドインをインストールする前に、アップデートをインストールして、次の KB 資料の記載の [support.microsoft.com/en-us/kb/3140245](https://support.microsoft.com/en-us/kb/3140245) に従って TLS 1.1 以降を有効にします。お使いの Web ブラウザに基づき、SCVMM サーバーおよび SCVMM コンソールで TLS 1.1 以降のサポートを有効にして、SCVMM 用 DLCI が予想どおり作動することを確認してください。iDRAC の詳細については、[Dell.com/idracmanuals](https://Dell.com/idracmanuals) を参照します。**

コンソールアドインをインストールするには次の手順を実行します。

- a. **DLCI\_VMM\_Console\_Addin** インストーラを実行します。
- b. **DLCI Console Add-in for SCVMM (SCVMM 用 DLCI コンソールアドイン)** のようこそページで **Next (次へ)** をクリックします。
- c. **License Agreement (ライセンス契約)** ページで、**I accept the terms in the license agreement (ライセンス契約の条件に同意します)** を選択してから、**Next (次へ)** をクリックします。
- d. **Destination Folder (宛先フォルダ)** ページでは、インストールフォルダがデフォルトで選択されています。場所を変更するには、**Change (変更)** をクリックして新しい場所をスキャンし、**Next (次へ)** をクリックします。
- e. **Ready to Install the Program (プログラムインストールの準備完了)** ウィンドウで、**Install (インストール)** をクリックします。
- f. **InstallShield** ウィザードの完了 ページで、**終了** をクリックして、コンソールアドインのインストールを完了します。コンソールアドインをインポートするには次の手順を実行します。
  - a. 管理者または委任管理を使用して、VMM コンソールを起動します。
  - b. **設定** をクリックし、**コンソールのアドインのインポート** をクリックします。

コンソールのアドインのインポート ウィザード が表示されます。
  - c. **ブラウズ** をクリック、コンソールのアドインの zip ファイルを選択し、**次へ** をクリックして、**完了** をクリックします。

アドインが有効であることを確認します。
  - d. 左ペインで **ファブリック** をクリックして、リボンの **DLCI コンソール** をクリックします。
  - e. 信頼済みサイトに Admin Portal の URL を追加して、コンソールのアドインを追加します。

## IG の変更

このオプションで変更できるのはパスワードのみです。ユーザー名やポート情報を編集することはできません。

SCVMM 管理者ユーザーの資格情報を変更するには、ユーザーが Active Directory 内でパスワードを変更済みであることが前提条件となります。

IG を変更するには、次の手順を実行します。

1. **DLCI Integration Gateway for SCVMM (SCVMM 用 DLCI 統合ゲートウェイ)** インストーラを実行します。
2. **Program Maintenance (プログラムメンテナンス)** で **Modify (変更)** を選択してから、**Next (次へ)** をクリックします。
3. パスワードを変更して、**Next (次へ)** をクリックします。
4. **Modify the program (プログラムの変更)** ダイアログボックスで **Install (インストール)** をクリックします。



5. 変更タスクが完了したら **Finish (終了)** をクリックします。

## IG の修復

IG を修復するには、次の手順を実行します。

1. **DLCI Integration Gateway for SCVMM (SCVMM 用 DLCI 統合ゲートウェイ)** インストーラを実行します。
2. **Program Maintenance (プログラムメンテナンス)** で **Repair (修復)** を選択してから、**Next (次へ)** をクリックします。
3. **Ready to Repair (修復の準備完了)** で、IG ユーザーアカウントのパスワードを入力し、**Install (インストール)** をクリックします。
4. 修復タスクが完了したら、**Finish (終了)** をクリックします。

## SCVMM と統合ゲートウェイの資格情報の変更

SCVMM 管理者の資格情報および統合ゲートウェイの資格情報は、管理ポータルから変更することができます。これは、連続するアクティビティであり、まず最初に統合ゲートウェイの資格情報を変更し、それから SCVMM 管理者の資格情報を変更します。

統合ゲートウェイ管理者ユーザーの資格情報を変更するには、ユーザーが統合ゲートウェイインストーラを実行し、変更オプションを選択することによって、パスワードをすでに変更済みであることが前提条件となります。


SCVMM 管理者ユーザーの資格情報を変更するには、ユーザーが Active Directory 内でパスワードを変更済みであることが前提条件となります。

統合ゲートウェイまたは SCVMM の管理者の資格情報を変更するには、次の手順を実行します。

1. 管理ポータルで、**Registration (登録)** をクリックします。
2. **DLCI Integration Gateway for SCVMM (SCVMM の DLCI 統合ゲートウェイ)** の下の **Registration (登録)** で、**Modify Credentials (資格情報の変更)** をクリックします。
3. パスワードをアップデートして、**Save (保存)** をクリックします。

## SCVMM 用 DLCI のアップグレード

SCVMM 用 DLCI のインストールおよびセットアップ後、SCVMM 用 DLCI のサービスパックアップデートが使用可能である場合、SCVMM のサービスパックアップデート機能を使用してサービスパックアップデートをインストールすることができます。

 **メモ:** オンライン FTP アカウントを使用する場合は、デフォルトアップデートソースのプロキシ詳細を編集して追加し、保存します。

### Service Pack のアップデートについて

SCVMM 用 DLCI がリリースされた後、既存のアプライアンスへのアップグレードまたは拡張機能として使用可能な、重要な欠陥の修正または機能の追加を共有する必要があります。

- ・ Service Pack ファイルは、任意の HTTP サーバーに配置して、Service Pack のファイルを使用してアップデートを行なうことができます。
- ・ これらの Service Pack を段階的に適用することができます。ただし、一度適用した後に元に戻すことはできません。
- ・ この Service Pack は累積的です。つまり、最新の Service Pack では以前のすべてのリリースからの修正が含まれていません。

SCVMM 用 DLCI による Service Pack は次の 2 タイプです。

- ・ アプライアンス Service Packs
- ・ インフラ Service Packs

### アプライアンス Service Pack およびインフラ Service Pack のダウンロード

デジタル資格情報サイトから Service Pack をダウンロードするための前提条件として、有効なサブスクリプションが要求されます。

インフラ Service Pack は、無料で利用可能です。

Service Pack をダウンロードするには、次の手順を実行します。

1. URL ([dell.com/support/licensing/us/en/19/Lkm/Index](https://dell.com/support/licensing/us/en/19/Lkm/Index)) からデジタル資格情報ポータルにログインします。
2. 使用可能なソフトウェアのダウンロードを選択し、**Microsoft System Center Virtual Machine Manager 用 Dell Lifecycle Controller Integration** を選択して、**表示** をクリックします。
3. Service Pack をダウンロードします。

### Service Pack アップデートの前提条件

アップグレードを開始する前に、次の前提条件を完了します。

1. 実行中のジョブがないことを確認します。実行中のジョブがある場合、ジョブが完了するまで待ちます。
2. SCVMM 用 DLCI 仮想マシンをバックアップします。詳細に関しては、Microsoft のマニュアルを参照してください。



## Service Pack アップデートのリポジトリへのコピー

ダウンロードした Service Pack を配置するには、リポジトリが必要です。

**前提条件:** サーババックのすべてのファイル形式が HTTP サーバーによってサポートされていることを確認します。サポートされていない場合は、http 管理者とサポートの追加を確認します。次のファイル形式はサポートされています。

- ・ .RPM
- ・ .XML
- ・ .TXT
- ・ .BZ2

.BZ2 ファイル形式のサポートを有効にするには次のようにします。

1. repo ファイルが保存されているサーバーで、IIS マネージャを開きます。
2. ホスト名を展開します。サイトをクリックしてデフォルトの Web サイトをクリックします。
3. アクション ペインで、追加をクリックします。  
[MIME タイプを追加] ウィンドウが表示されます。
4. ファイル名の拡張子を .BZ2、MIME タイプを APP / BZ2 にして、OK をクリックします。

リポジトリを準備するには、次の手順を実行します。

1. サービスパックファイルを直接 HTTP サーバーに配置します。
2. ダウンロードした Service Pack をダブルクリックして、指定した場所にファイルを解凍します。
3. HTTP サイトに解凍されたファイルをコピーします。

## リポジトリ URL 情報の入力

URL 情報を入力するには、次の手順を実行します。

1. **DLCI 管理ポータル — SCVMM** で、**Settings (設定) → Service Pack Updates (サービスパックアップデート)** を選択します。
2. **Repository URL (リポジトリ URL)** に、`http://<servername>:<portname>/<repository path>` の形式で URL 情報を入力し、必要に応じてプロキシサーバー詳細を入力してから、**Save (保存)** をクリックします。

## Service Pack アップデートのインストール

リポジトリの URL 情報が使用可能であり、**Service Pack アップデート** ページに含まれていることを確認します。詳細に関しては、「[リポジトリ URL 情報の入力](#)」を参照してください。

Service Pack アップデートをインストールするには、次の手順を実行します。

1. Service Pack が HTTP サイト内に置かれたら、**DLCI 管理ポータル — SCVMM → 設定 → Service Pack アップデート** で、**アップデートのチェック** をクリックします。  
SCVMM 用 DLCI については、既存のバージョンとリポジトリ内で使用可能なサービスパックバージョンが表示されます。  
必要に応じて、リリースノートを表示することができます。
2. **適用、OK** の順にクリックします。
3. アップグレードアクティビティが完了したら、DLCI 管理ポータルにログインし、次にブラウザのキャッシュ履歴をクリアします。

インストール後の手順:

Service Pack のアップデートを確認するには、次の手順を実行します。

1. 管理ポータルでの **About (バージョン情報)** で、Service Pack アップデートバージョンの詳細を表示します。
2. 詳細については、管理ポータルで、**Settings (設定) → Logs (ログ)** を選択します。
3. **upgradelogs** ディレクトリで Service Pack のアップグレードのログファイルを表示またはダウンロードするには、**<Service Pack バージョン番号>** ディレクトリ (たとえば、1.2.0.207 ディレクトリ) を選択して表示するか、Service Pack アップグレードのログファイルをダウンロードします。
4. Service Pack のアップデートに失敗した場合は、**dell.com/support** にお問い合わせください。


Service Pack のアップデートが完了するには、次操作を行います。

- ・ 統合ゲートウェイをアップグレードします。
- ・ コンソールのアドインを追加します。

## IG のアップグレード

IG をアップグレードするには、次の手順を実行します。

**前提条件** : 作成された共有フォルダに最低 10 GB のディスク空き容量があることを確認します。

 **メモ**: ディスクに **10 GB** の空き容量がない場合、インストールは警告メッセージを表示した状態で続行します。ただし、オペレーティングシステムの導入およびファームウェアのアップデートが失敗する場合があります。

1. 管理ポータルから、IG インストーラをダウンロードします。
2. **DLCI Integration Gateway for SCVMM (SCVMM 用 DLCI 統合ゲートウェイ)** インストーラを実行します。
3. アップグレードを求めるメッセージで、**Yes (はい)** をクリックします。
4. **DLCI Integration Gateway for SCVMM Welcome (SCVMM 用 DLCI 統合ゲートウェイのようこそ)** ページで、**Next (次へ)** をクリックします。
5. **License Agreement (ライセンス契約)** で、**I accept the terms in the license agreement (ライセンス契約の条件に同意します)** を選択して **Next (次へ)** をクリックします。
6. **License: Open-Source Software (ライセンス : オープンソースソフトウェア)** で、オープンソース関連の情報を参照し、**Next (次へ)** をクリックします。
7. **Integration Gateway Configuration (統合ゲートウェイの設定)** で、IG サービスアカウントユーザーとポート番号の詳細を入力します。ステージングサーバーの場所を変更するには、**Select Share Folder (共有フォルダの選択)** をクリックし、新しい場所をスキャンしてから **Next (次へ)** をクリックします。  
 アプライアンスと IG 間の通信のためのポートを割り当てます。有効になるデフォルトポートは 8455 です。ただし、必要に応じて異なるポート番号を設定することができます。IG サービスユーザーアカウントの **Execution policy (実行ポリシー)** は、**Unrestricted (制限なし)** に設定されています。
8. **Destination Folder (宛先フォルダ)** にはデフォルトのインストールフォルダが選択されています。場所を変更するには、**Change (変更)** をクリックして新しい場所をスキャンし、**Next (次へ)** をクリックします。
9. **Ready to Install the Program (プログラムインストールの準備完了)** で、**Install (インストール)** をクリックします。
10. インストールが完了したら、**Finish (終了)** をクリックします。

## コンソールアドインのアップグレード

コンソールアドインをアップグレードするには :

1. 管理ポータルで、**インストーラをダウンロード** をクリックして、インストーラを任意の場所に保存します。
2. **DLCI\_VMM\_Console\_Addin** インストーラを実行します。
3. アップグレードを求めるメッセージで、**Yes (はい)** をクリックします。
4. **DLCI Console Add-in for SCVMM (SCVMM 用 DLCI コンソールアドイン)** のようこそ ページで **Next (次へ)** をクリックします。
5. **License Agreement (ライセンス契約)** ページで、**I accept the terms in the license agreement (ライセンス契約の条件に同意します)** を選択してから、**Next (次へ)** をクリックします。
6. **Destination Folder (宛先フォルダ)** ページでは、インストールフォルダがデフォルトで選択されています。場所を変更するには、**Change (変更)** をクリックして新しい場所をスキャンし、**Next (次へ)** をクリックします。



7. **Ready to Install the Program** (プログラムインストールの準備完了) ウィンドウで、**Install** (インストール) をクリックします。
8. **InstallShield Wizard Completed** (InstallShield ウィザードの完了) ページが表示されたら、**Finish** (終了) をクリックし、インストールを完了します。
9. SCVMM からコンソールアドインを削除し、コンソールアドインを再インポートします。コンソールの削除については、[SCVMM からのコンソールアドインの削除](#)を参照してください。

# アプライアンスのアンインストール

アプライアンスをアンインストールするには、次の手順を実行します。

1. IG を取り外します。詳細については、「[IG の取り外し](#)」を参照してください
2. コンソールアドインを削除します。詳細については、「[コンソールアドインの削除](#)」を参照してください。
3. アプライアンスを削除します。詳細については、「[アプライアンスの削除](#)」を参照してください。
4. アプライアンス固有のアカウントを削除します。詳細については、「[その他のアンインストールタスク](#)」を参照してください。

 **メモ:** Dell Connections License Manager (DCLM) への依存関係が削除されました。したがって DCLM をアンインストールするには、『*Dell Connections Licence Manager Installation Guide*』（*Dell Connections Licence Manager インストールガイド*）を参照してください。

## IG の取り外し

IG をインストールしたシステムから IG を削除します。  
IG をアンインストールするには、次の手順を実行します。

1. コントロールパネルでプログラム → プログラムのアンインストールをクリックします。
2. **DLCI Integration Gateway for SCVMM** (SCVMM 用 DLCI 統合ゲートウェイ) を選択し、アンインストール をクリックします。

## SCVMM からのコンソールアドインのを削除

SCVMM からコンソールアドインを削除するには、次の手順を実行します。

1. VMM コンソールで **Settings** (設定) をクリックします。
2. コンソールアドインを右クリックして、**Remove** (削除) を選択します。

## コンソールアドインのアンインストール

コンソールアドインをアンインストールするには次の手順を実行します。

1. コントロールパネルでプログラム → プログラムのアンインストールをクリックします。
2. **DLCI Console Add-in for SCVMM** (SCVMM 用 DLCI コンソールアドイン) を選択し、次にアンインストールをクリックします。

## アプライアンスの削除

アプライアンスを削除するには、次の手順を実行します。

1. **Windows サーバー** の **Hyper-V マネージャー** でアプライアンスファイルを右クリックし、**オフにする** をクリックします。
2. アプライアンスファイルを右クリックし、**オフにする** をクリックします。

## その他のアンインストール手順

これには、アプライアンス固有の **RunAsAccounts** の削除、および **DLCI** アプリケーションプロファイルの削除が含まれます。

### アプライアンス固有の **RunAsAccounts** の削除

アプライアンス固有の RunAsAccounts を SCVMM コンソールから削除するには、次の手順を実行します。

1. SCVMM コンソールで **Settings (設定)** をクリックします。
2. **RunAsAccounts** をクリックします。
3. アカウントのリストから、アプライアンス固有のアカウントを削除します。  
アプライアンス固有のアカウントには、先頭に **Dell\_** が付いています。

### DLCI アプリケーションプロファイルの削除

SCVMM コンソールで、**ライブラリ** → **プロファイル** → **アプリケーションプロファイル** を選択し、**DLCI-VMM** アドイン登録プロファイルを削除します。

# トラブルシューティング

## SCVMM のアカウント削除

SCVMM は、**DLCI-VMM Addin Registration Profile** という名前でアプライアンスのアカウントを作成します。このプロファイルが削除されると、そのアプライアンスでの作業ができなくなります。

このアカウントは削除しないことをお勧めしますが、このアカウントが削除された場合は、アプライアンスを再インストールしてください。

## アプライアンスと ADK の互換性の問題

互換性のないバージョンの ADK を含むソフトウェアをインストールした後、SCVMM 用 DLCI の既存の機能が失敗することがあります。

この問題を回避するには、『*Dell Lifecycle Controller Integration for Microsoft System Center Virtual Machine Manager Installation Guide*』（*Microsoft System Center Virtual Machine Manager 用 Dell Lifecycle Controller Integration インストールガイド*）に記載されている前提条件に従って ADK のバージョンをアップグレードします。

## アプライアンスと統合ゲートウェイ間の接続喪失

統合ゲートウェイがインストールされているサーバーを再起動すると、アプライアンスと統合ゲートウェイ間における接続が失われます。これは、ユーザーに対する統合ゲートウェイの実行ポリシーがアクティブになっていないことが原因です。統合ゲートウェイユーザーアカウントを使用して統合ゲートウェイサーバーにログインし、実行ポリシーをアクティブにします。ただし、ログイン後も、次の手順を完了するまでは接続が回復されません。

PowerShell 実行ポリシーを設定するには、次の手順を実行します。

- ローカルシステムの PowerShell 実行ポリシーを RemoteSigned に設定し、**統合ゲートウェイサービスアカウント** を Unrestricted に設定します。  
ポリシー設定の詳細に関しては、次の MSDN 記事を参照してください。
  - PowerShell 実行ポリシー**： [technet.microsoft.com/en-us/library/hh847748.aspx](http://technet.microsoft.com/en-us/library/hh847748.aspx)
  - PowerShell グループポリシー**： [technet.microsoft.com/library/jj149004](http://technet.microsoft.com/library/jj149004)
- 実行ポリシーが設定されたら、統合ゲートウェイを再起動します。

## SCVMM 用 DLCI 管理ポータルにアクセスできない

完全修飾ドメイン名 (FQDN) を使用して、管理ポータルにはブラウザを介してアクセスできません。

この問題を回避するには、DNS サーバーまたは同一ドメイン内の他のシステムからその FQDN を使用してアプライアンスに対して ping を実行します。応答が返る場合は、数分待ってから、管理ポータルにアクセスします。それでも問題が解決しない場合は、管理者に問い合わせてください。



## SCVMM R2 のアップデート後のプラグインへのアクセスエラー

SCVMM 用 DLCI プラグインをインストールし、SC2012 R2 VMM 用のアップデートロールアップを適用すると、セキュリティ上の理由から、SCVMM にはエラーメッセージが表示されます。その結果 SCVMM 用 DLCI プラグインにアクセスすることはできません。

回避策として、次の手順を実行します。

1. デフォルトパスにあるフォルダ `C:\Program Files\Microsoft System Center 2012 R2\Virtual Machine Manager\Bin\AddInPipeline\AddIns\<username>` を削除します。
2. SCVMM を閉じて開きなおします。
3. 『*Dell Lifecycle Controller Integration for Microsoft System Center Virtual Machine Manager Installation Guide*』（Microsoft System Center Virtual Machine Manager 用 Dell Lifecycle Controller Integration インストールガイド）の記載内容に従って、コンソールアドインをアンインストールし、再インポートします。

## ネットワーク設定の変更後のアプライアンスへのアクセスエラー

アプライアンスをセットアップした後、ネットワーク設定が変更されても、その変更がアプライアンスに反映されないことがあります。

回避策として、これらの変更を適用するために、アプライアンスを再起動します。

## セットアップおよび設定時の入力エラー

アプライアンスのセットアップおよび設定中に一部の入力ミスがあった場合には、“The input value of SCVMM FQDN was missing or invalid.” または “The input value of Dell Integration Gateway FQDN was missing or invalid.” のようなエラーが表示されます。

必要な形式で、正しい資格情報を提供します。

## Mozilla Firefox ブラウザを介して管理ポータルにアクセスする際のエラーメッセージ

Mozilla Firefox ブラウザを使用して Admin Portal にアクセスすると、警告メッセージ、「セキュア接続に失敗」が表示されます。

これを回避するには、ブラウザの admin portal の前回のエントリから作成された証明書を削除します。

## サーバーへの接続の失敗

SCVMM 環境で SCVMM 用 DLCI コンソールアドインをインストールした後、DLCI コンソールアイコンをクリックすると、`Connection to server failed` というエラーが表示されます。

回避策として、次の手順を実行します。

- ・ アプライアンスの IP と FQDN を信頼済みサイトとして追加します。
- ・ アプライアンスの IP と FQDN を DNS の **Forward Lookup Zones**（前方参照ゾーン）および **Reverse Lookup Zones**（逆引き参照ゾーン）に追加します。
- ・ `C:\ProgramData\VMMLogs\AdminConsole` ファイルにエラーメッセージがないか確認します。

## SCVMM 用 DLCI コンソールのアドインのインポート中、2016 VMM コンソールがクラッシュ

コンソールのアドインがインストールされているフォルダにユーザーによるアクセスが不十分な場合、SCVMM コンソールは、SCVMM 用 DLCI アドインのインポート中にクラッシュします。

この問題を回避するには、SC2016 VMM のアップデートロールアップ1をインストールしてから、SCVMM 用 DLCI コンソールアドインをインポートします。

## Windows 2012 OS 上での SCVMM 用 DLCI 管理ポータルおよび SCVMM 用 DLCI コンソールアドインの起動の失敗

Internet Explorer (IE) バージョン 10 での管理ポータルの起動および Windows Server 2012 OS 上で SCVMM からコンソールの起動は、TLS 1.2 が有効にされている場合に失敗します。

回避策として、最新の IE セキュリティアップデートをインストールし、Internet Explorer (IE) バージョン 10 で管理ポータルを起動し、SCVMM からコンソールを起動します。詳細については、[dell.com/support/article/us/en/19/SLN302365](http://dell.com/support/article/us/en/19/SLN302365) を参照してください。

## アプライアンスに割り当てられていない IP アドレス

アプライアンスを作成したり操作すると、IP アドレスが割り当てられなかったり、黒のコンソールに表示されます。

この問題を回避するには、仮想スイッチが、物理スイッチにマップされており、正しく設定されていることを確認して、アプライアンスに接続します。

## SCVMM にアクセスする必要な権限がない

SCVMM コンソールを開くために使用されている SCVMM アカウントが前提条件を満たしていない場合、次のエラーが表示されます：“You should be an Administrator/Delegated Administrator to launch the Add-In”。

SCVMM アカウントおよび IG アカウントに必要な権限については、*Dell Lifecycle Controller Integration for System Center Virtual Machine Manager Installation Guide* (System Center Virtual Machine Manager 用 Dell Lifecycle Controller Integration インストールガイド) を参照してください。

## Active Directory へのサーバー追加中の SCVMM エラー 21119

Active Directory にサーバーを追加している間、SCVMM エラー 21119 が表示されます。Error 21119: The physical computer with <SMBIOS GUID> did not join Active Directory in time. The computer was expected to join Active Directory using the computer name <host.domain>.

回避策として、次の手順を実行します。

1. しばらく待ってから、サーバーが Active Directory に追加されたかを確認します。
2. Active Directory にサーバーが追加されていない場合は、Active Directory にサーバーを手動で追加します。
3. SCVMM にサーバーを追加します。
4. SCVMM にサーバーが追加されたら、DLCI コンソールでサーバーを再検出します。  
サーバーは **ホスト** タブの下に表示されます。



## SCVMM 登録の失敗

SCVMM Server または統合ゲートウェイの検証や認証、またはこの両方が失敗した場合は、「SCVMM 登録に失敗しました。」というエラーメッセージが表示されます。

この問題を回避するには、次の手順を実行します。

- ・ 読み取りユーザーとしてのみアプライアンスにログインすることにより、SCVMM Server およびアプライアンスから IG がインストールされているサーバーに対して Ping を実行します。応答があった場合、しばらく待ってから、設定および構成を続行します。
- ・ インターネット情報サービス (IIS) マネージャサービスが IG がインストールされているサーバーで実行されていることを確認します。
- ・ FQDN、資格情報、セットアップ時に提供されたポート番号などの詳細、および構成ウィザードが有効で正しく、IG のインストール中に提供されたものと同一であることを確認します。
- ・ IG サービスアカウントユーザーは、SCVMM のユーザー役割の SCVMM Server Administrator および IG がインストールされたシステムのローカル管理者の一部であることを確認します。
- ・ SCVMM Server が実行されていることを確認します。
- ・ FQDN、資格情報、セットアップ時に提供されたポート番号などの詳細、および構成ウィザードが正しいことを確認します。
- ・ Scvmm ユーザーは、SCVMM のユーザー役割の SCVMM Server Administrator または委任管理であることを確認します。
- ・ SCVMM Server が他のアプライアンスに登録していないことを確認します。アプライアンスに同じ SCVMM Server を登録する場合は、SCVMM Server の **DLCI-VMM Add in Registration Profile** アプリケーションを削除します。アプライアンスのアンインストールの詳細については、『*System Center Virtual Machine Manager インストールガイド*』の『*Dell Lifecycle Controller Integration*』を参照します。
- ・ SCVMM のロールアップを更新し、レジストリ (HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Microsoft System Center Virtual Machine Manager AdministratorConsole\Settings) の SCVMM Console の TCP ポートにチェックを入れていた場合は、SCVMM コンソールのインストール中 (デフォルトでは 8100) に使用されたものと同じにする必要があります。

## Dell サポートサイトからの文書へのアクセス

必要なドキュメントにアクセスするには、次のいずれかの方法で行います。

- ・ 次のリンクを使用します。
  - すべての Enterprise システム管理マニュアル — [Dell.com/SoftwareSecurityManuals](https://www.dell.com/support/manuals)
  - OpenManage マニュアル — [Dell.com/OpenManageManuals](https://www.dell.com/support/manuals)
  - リモートエンタープライズシステム管理マニュアル — [Dell.com/esmmanuals](https://www.dell.com/support/manuals)
  - iDRAC および Lifecycle Controller マニュアル - [Dell.com/idracmanuals](https://www.dell.com/support/manuals)
  - OpenManage Connection エンタープライズシステム管理マニュアル — [Dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement](https://www.dell.com/support/manuals)
  - Serviceability Tool マニュアル — [Dell.com/ServiceabilityTools](https://www.dell.com/support/manuals)
  - OpenManage Connections クライアントシステム管理マニュアル — [Dell.com/DellClientCommandSuiteManuals](https://www.dell.com/support/manuals)
- ・ Dell サポートサイトから、
  - a. [Dell.com/Support/Home](https://www.dell.com/support/home) に移動します。
  - b. **製品の選択** セクションで、**ソフトウェアとセキュリティ** をクリックします。
  - c. **ソフトウェアとセキュリティ** グループボックスで、次の中から必要なリンクをクリックします。
    - **エンタープライズシステム管理**
    - **リモートエンタープライズシステム管理**
    - **Serviceability Tools**
    - **Dell Client Command Suite**
    - **接続クライアントシステム管理**
  - d. ドキュメントを表示するには、必要な製品バージョンをクリックします。
- ・ 検索エンジンを使用します。
  - 検索ボックスに名前および文書のバージョンを入力します。

